

医療ニーズ;X線の平行センサー



医療ニーズ提案部門
滋賀医科大学 附属病院 放射線部

■放射線部ホームページ

http://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/department/central_clinic/radiology_dep/index.html

「寝た状態でも正確に撮影がしたい」

■ニーズの背景

- X線撮影時、検出器とX線照射側が平行になる必要がある。
- X線撮影は、X線を照射し患者の体を通じたX線をフィルムに写すため、患者が立って撮影するときはもちろん、患者が手術室や病棟のベッドで寝ている状態でもとることもあり、平行になっているかどうか判断が難しいことがある。
- 平行に撮れないと、正確な患者の体の把握ができなかったり再撮影になることもある。

■現在の対応方法

- 平行にする作業は技師の直感や感覚によるところが多い。

【イメージ・参考例】現状の例



← ポータブル型のX線撮影装置

機能アイデア例

- 照射装置と照射部位(身体)が平行になる機能
- 平行になった時に、操作者に知らせる機能

■使用頻度や市場性(マーケットサイズ)に関する情報

- 本院での使用頻度
X線撮影件数: 101,642件/年
出典: <http://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/hospital/record/index.html>

お問合せ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携係

電話: 077-548-2847

メール: hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp